

# ロナセンテープ

## LT Japan Web セミナー



日時 2020年**2**月**4**日(火) 12:30~13:00

「新たな剤型による統合失調症の薬物治療戦略  
ーロナセンテープ(経皮吸収経路)の可能性ー」

演者

**岩崎 真三 先生**

医療法人社団浅ノ川 桜ヶ丘病院 病院長

参加ご希望の方は…

本WEBセミナーはライブ配信形式のWEBセミナーです。

ご視聴を希望される方は、弊社担当MRまでご連絡下さい。

追って、視聴方法等の詳細をメールにてご案内致します。

ご連絡いただく「個人情報」は本会運営の目的のみに使用させていただきます。

主催 大日本住友製薬株式会社



## 岩崎真三先生ご略歴

- 1963年 和歌山県生まれ
- 1988年 金沢医科大学医学部卒業  
同大学神経精神医学教室入局
- 1993年 同大学神経精神医学教室 助手
- 1995年 同大学神経精神医学教室 講師
- 1997年 金沢医科大学病院 神経科精神科 外来医長
- 2003年 金沢医科大学精神神経科学教室 医局長
- 2006年 (医・社)浅ノ川 桜ヶ丘病院 副院長
- 2014年 (医・社)浅ノ川 桜ヶ丘病院 病院長  
(医・社)浅ノ川 理事
- 2018年 金沢医科大学 特定教授 併任 (現在に至る)

## 講演要旨

近年、統合失調症患者の治療ゴールは、急性期では社会復帰までのRecoveryが求められる時代に突入した。一方、慢性期では長期入院を余儀なくされ、高齢化と多剤処方が長期化した影響から、嚥下障害を伴ったり重篤な便秘などの消化管機能障害を有する患者も少なくない。

非鎮静系、十分な抗幻覚妄想効果、認知機能や代謝機能に悪影響しないなどのロナセンの臨床的特徴に加え、経皮吸収経路のテープ剤がもたらす可能性について提示する。